経済戦略局職員表彰　推薦理由書

令和　年　月　日

経済戦略局長　様

（推薦者）

所　　　属：

補職・氏名：

連　絡　先：

下記について、経済戦略局職員表彰の対象と考えますので、推薦します。

|  |  |
| --- | --- |
| ①部・課・担当 |  |
| ②推薦する職員名※業務ライン等のグループの場合は全員を記載 |  |
| ③表彰対象と考える取組みや活動 |  |
| ④推薦する理由※⑤の審査基準に該当する理由を含めて記載 |  |
| ⑤審査基準※該当するものにチェック(複数選択可)要綱第４条の表彰事由⑸以外に該当する場合は裏面にチェックしてください | 基本点 | □　職員のモチベーション向上□　どこの部署でも参考□　継続的な取組み、定着□　改善活動、改善の取組み | 【参考】審査基準・基本点５点満点・個別点５点満点（合計10点満点）※個別点は「組織運営」「市民志向」「チャレンジ精神・プロ意識」「個人・組織の能力向上」のうち、いずれかの項目に着目し　採点 |
| 組織運営 | □　働きやすい職場づくり□　職場風土の改善□　風通しのよい職場づくり□　組織力の強化 |
| 市民志向 | □　経費削減□　サービスの向上□　安全性の向上□　市民、企業等との協力体制 |
| チャレンジ精神プロ意識 | □　創造的な取組み□　先見性のある取組み□　忍耐づよい取組み□　もてる能力を最大限に発揮 |
| 個人・組織の能力向上 | □　業務成績の向上、能率増進□　専門的な知識の習得、経験の深化□　知識の共有□　作業時間の短縮 |
| ⑥その他 |  |

※経済戦略局に所属する職員であれば、誰でも推薦者になれます。

※各部(注１)において選定された事案(注２)については、表彰認定委員会において被推薦者（グループの場合は代表者）によるプレゼンテーションを行っていただきます。

※○月○日（○）までに、本推薦理由書及びプレゼンテーションにて使用するパワーポイント資料（取り組み内容や工夫点をまとめたもの１～２枚）を提出してください。

(注１)立地交流推進部、国際博覧会推進室は合わせて１部とする。

(注２)各部１事案（企画総務部・産業振興部は２事案）目安。（これにより難い場合は事務局要相談）

【要綱第４条の表彰事由】※⑸以外に該当する場合のみチェックしてください。

|  |
| --- |
| □　⑴ 局業務運営上顕著な功績があったもの□　⑵ 局業務運営上有益な発明、考案又は改良をしたもの□　⑶ 危険を顧みず身をていして職責をつくしたもの□　⑷ 災害を未然に防止し、又は災害に際して功労があったもの　⑸ その他業務成績の向上、能率の増進等他の模範として推奨すべき業績又は善行があったもの※⑸に該当する場合は表面の「⑤審査基準」にチェックしてください |

経済戦略局職員表彰　推薦理由書

**記載例**

令和○年○月○日

経済戦略局長　様

（推薦者）

所　　　属：　企画総務部総務課

補職・氏名：　総務課長　松岡　博

連　絡　先：　6615-3710

下記について、経済戦略局職員表彰の対象と考えますので、推薦します。

|  |  |
| --- | --- |
| ①部・課・担当 | 企画総務部総務課 |
| ②推薦する職員名※業務ライン等のグループの場合は全員を記載 | □□ 担当係長◎◎ 係員△△ 係員 |
| ③表彰対象と考える取組みや活動 | 〇〇システムの改良 |
| ④推薦する理由※⑤の審査基準に該当する理由を含めて記載 | 〇〇システムの使いづらい点について局内職員から聞き取りを行い、その意見を踏まえて抜本的な改良を行ったことにより、局内だけでなく全市的な事務効率化に貢献した。また、関係業務のマニュアルを作成、局内で共有することにより、各課における●●関係の事務負担が非常に軽減され、●●関係の超過勤務が50％削減された。これらのことから、本取組は各部署での長期的な事務効率の向上につながる非常に有益な改善の取組みだと考えられるため、表彰対象として推薦する。 |
| ⑤審査基準※該当するものにチェック(複数選択可)要綱第４条の表彰事由⑸以外に該当する場合は裏面にチェックしてください | 基本点 | □　職員のモチベーション向上■　どこの部署でも参考□　継続的な取組み、定着■　改善活動、改善の取組み | 【参考】審査基準・基本点５点満点・個別点５点満点（合計10点満点）※個別点は「組織運営」「市民志向」「チャレンジ精神・プロ意識」「個人・組織の能力向上」のうち、いずれかの項目に着目し　採点 |
| 組織運営 | □　働きやすい職場づくり□　職場風土の改善□　風通しのよい職場づくり□　組織力の強化 |
| 市民志向 | ■　経費削減□　サービスの向上□　安全性の向上□　市民、企業等との協力体制 |
| チャレンジ精神プロ意識 | □　創造的な取組み□　先見性のある取組み□　忍耐づよい取組み□　もてる能力を最大限に発揮 |
| 個人・組織の能力向上 | ■　業務成績の向上、能率増進□　専門的な知識の習得、経験の深化□　知識の共有■　作業時間の短縮 |
| ⑥その他 |  |

※経済戦略局に所属する職員であれば、誰でも推薦者になれます。

※各部(注１)において選定された事案(注２)については、表彰認定委員会において被推薦者（グループの場合は代表者）によるプレゼンテーションを行っていただきます。

※○月○日（○）までに、本推薦理由書及びプレゼンテーションにて使用するパワーポイント資料（取り組み内容や工夫点をまとめたもの１～２枚）を提出してください。

(注１) 立地交流推進部、国際博覧会推進室は合わせて１部とする。

(注２)各部１事案（企画総務部・産業振興部は２事案）目安。（これにより難い場合は事務局要相談）

【要綱第４条の表彰事由】※⑸以外に該当する場合のみチェックしてください。

|  |
| --- |
| □　⑴ 局業務運営上顕著な功績があったもの□　⑵ 局業務運営上有益な発明、考案又は改良をしたもの□　⑶ 危険を顧みず身をていして職責をつくしたもの□　⑷ 災害を未然に防止し、又は災害に際して功労があったもの　⑸ その他業務成績の向上、能率の増進等他の模範として推奨すべき業績又は善行があったもの※⑸に該当する場合は表面の「⑤審査基準」にチェックしてください |